



福岡県支部会報

第9号

会長あいさつ

福岡県支部 会長 山田 亮 (13PP・1980卒)

新型コロナウイルス感染が国内で確認されてから1年半が経ちましたが、終息するどころか変異株の出現により更なる感染拡大が懸念されています。また、会員の中には、新型コロナ医療の最前線で日々奮闘されている方も多くおられることと思います。

北里柴三郎先生が活躍されていた100年前はウイルスの概念もなく、ましてやPCRもない、そんな中で単眼式光学顕微鏡のみで多くのパンデミックと最前線で戦っておられた先生の偉業を改めて肌で感じる今日この頃です。

同窓会福岡県支部も昨年来、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動制限を余儀なくされ、Zoomを用いたWeb会議による理事会、支部総会の書面開催と前例のない対応を重ねてまいりました。当初は対面方式の会議に比べ多くの不便さを感じていたWeb会議ですが、いつのまにか慣れてしまい不便さを感じなくなりました。Web会議は、感染予防のみならず移動時間の節約や拘束時間の短縮等多くのメリットがある反面、対面ならではの人と人とのふれあい、絆の形成が弱くなったと感じています。一日も早く以前のような安全と安心の日々を取り戻し、皆様とお会いできることを切に願っています。

なお、今年の総会も、新型コロナウイルス感染防止対策として、書面決議とWeb会議のハイブリット開催を予定しておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



次はあなたの番かも

今回の会報原稿として皆様の“大学時代の思い出..を募集します。どしどし支部のE-mailにお寄せ下さい。

想1 海外旅行と鳥類学者への夢

～小野 智康 (23VZ・1992卒)～

小学6年生の国語の授業で習った「井の中の蛙大海を知らず」が印象に残り、いつか海外に行ってみたく思うと同時に、友達と野鳥観察をスタートし、いつか鳥類学者になりたいと思っていました。

北里大学に入学し、相模原キャンパスの売店で「10万円で行ける世界一周旅行」の本に興味を持ち即購入、実行を決意しました。

しかし、10万円とは往復の格安航空券のことでした。当時は、携帯、スマホ、PCも存在しない時代でしたし、大韓航空機が爆破されて不安な時期でもありました。しかも、格安航空券は大韓航空便でしたが、チャンスは今しかない！と思い、新リトル英和辞書のみを持って一人旅を決行しました。

宿の手配から、移動（電車、トラム、バス、レンタカー）はすべてひとりでい、スイス、ドイツ、オーストリア、イギリスを回り、何とか無事に帰国できました。この時の経験は、今も外国人とのビジネスの際に役立っています。

十和田では自然会部に所属し、獣医学科の先輩に山階鳥類研究所の鳥類標識調査員の資格保有者がいた影響を受け、資格を取ることを決意しました。

試験は、カスミ網から野鳥を安全に外す技術や野鳥の識別能力の審査などが一週間にわたり行われましたが、会場となった新潟の環境省のステーションでは、受験者に皇族の紀宮清子様がいることが学生時代1番の驚きでした。



今年度も
書面による総会!

第24回 北里大学同窓会福岡県支部 総会

去る9月25日(土)の役員会において、現在の新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、出席者の感染防止のため、今年度の総会の「書面による総会開催」を決定しました。つきましては、「総会議案」を次のとおり提案しますので、議案をご確認の上、その賛否を同封のハガキ(切手不要)により、今年10月20日(水)までにポストにご投函いただきますようお願いします。

議案①/2020年度 活動報告

- 2020年 9月 4日(金) 2019年度会計監査〔オンライン監査・非集合/参加:片岡(ふ)監事、加藤会計担当理事、因間財務担当理事〕
- 同 10月17日(土) 第1回役員会〔Zoomミーティング・非集合/参加:役員11名〕
- 同 10月31日(土) 支部会報第8号発行〔支部会員561名に郵送〕
- 同 11月21日(土) 第23回支部総会〔書面による開催・非集合〕
※詳細は <https://kitasato-fukuokashibu.com/history-of-fukuoka-branch/> をご覧ください。
- 同 11月30日(月) 北里大学同窓会報・第89号(2021.3.19発行)の「支部同窓会だより」に寄稿〔執筆:安在理事〕
- 2021年 7月31日(土) 第2回役員会〔Zoomミーティング・非集合/参加:役員10名〕
- 同 8月 4日(水) 事務局会議〔Zoomミーティング・非集合/参加:会長、事務局長、各事業担当理事、他〕
- 同 8月 6日(金) 残暑御見舞い発送〔支部会員753名に郵送〕

議案②/2020年度 決算報告(2020.9.1 ~ 2021.8.31) 及び 会計監査報告

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増・減(Δ)	備考
前年度繰越金	1,378,106	1,378,106	0	
年会費	0	0	0	徴収なし
通信費 援助金	224,400	226,800	2,400	総会案内状・会報200円×561名、暑中見舞200円×573名
総会費	100,000	0	Δ 100,000	
雑収入	12	12	0	預金利息6円×2回
収入合計	324,412	226,812	Δ 97,600	年度内収入
総合計	1,702,518	1,604,918	Δ 97,600	年度内収入 +前年度繰越金

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増・減(Δ)	備考
総会費	64,354	74,222	9,868	総会返信葉書印刷17,600円、案内状印刷1,152円、通信費84円×561名、返信葉書受取人払(葉書代63円+後納手数料15円)×107名
懇親会費	60,000	0	Δ 60,000	
役員会議費	39,000	0	Δ 39,000	
慶弔費	3,000	0	Δ 3,000	
事業費	130,863	113,493	Δ 17,370	
会報関係費	60,863	53,493	Δ 7,370	会報印刷代2,544円、暑中見舞印刷代14,850円+63円×573名
ホームページ費	60,000	60,000	0	維持費5,000円×12箇月
企画準備費	10,000	0	Δ 10,000	会議費
事務費	27,760	26,825	Δ 935	北里認印代(銀行印)407円、封筒作製費(3年分)13,400円、振込手数料2,640円、事務局費10,000円、郵送料378円
支出合計	324,977	214,540	Δ 110,437	年度内支出
次年度繰越金	1,377,541	1,390,378	12,837	
総合計	1,702,518	1,604,918	Δ 97,600	年度内支出+次年度繰越金

2020年度 会計監査報告

北里大学同窓会福岡県支部の金銭出納帳、普通預金通帳及び領収書等を監査した結果、適正に執行されていることを確認しました。

2021年9月1日 監事 片岡ふゆ子 (監)

想2

青森十和田は第2の故郷 ~ 梶原一人 (4VV・1973卒) ~

大学を卒業して46年になる。大学院修士課程まで在籍した小生は、青森の暮らしは計5年間であった。



現在の地球温暖化時代とは違って昭和40年代後半の青森は寒く、1月~2月は真冬日(1日中零下)の連続だったため、福岡育ちの小生は「水が凍る」という辛さを痛感した。

不凍栓を忘れ、ボイラー屋を呼んで融かしてもらうこと頻回だった。在学中に大学の寮、下宿、アパートと3回住居を替えたが、雪と寒さとの闘いだったことは今となっては楽しい思い出である。

十和田湖・奥入瀬には何十回行ったか数えきれない。蕨温泉も同様である。大学の恩師、同級生や先輩・後輩も数多く亡くなられた。ご冥福をお祈りしたい。そして、北里大学同窓会の発展を祈念します。

議案③／2021年度活動計画

- 2021年 9月 1日(水) 2020年度会計監査〔オンライン監査・非集合／参加：監事、会計担当理事、財務担当理事〕
- 同 9月 1日(水) 第1回事務局会議〔Zoomミーティング・非集合／参加：会長、事務局長、各事業担当理事、他〕
- 同 9月25日(土) 第1回役員会〔Zoomミーティング・非集合／参加：役員13名〕
- 同 10月 2日(土) 支部会報第9号発行および第24回支部総会(書面による総会)の議案・賛否返信葉書の送付
- 同 10月30日(土) 第24回支部総会〔書面による開催 & オンライン総会・非集合／議案賛否の返信葉書は10/20迄に投函〕
- 同 11月30日(火) 北里大学同窓会報・第90号(2022.3発行予定)の「支部同窓会だより」へ投稿〔執筆：高山理事〕
- 2022年 4月(予定) 第2回役員会〔日時等未定〕
- 同 7月～8月上旬 暑中御見舞い発送〔支部会員全員〕

【支出の部】

(単位：円)

科目	前年度 決算額	今年度 予算額	増・減 (△)	備考
総会費	74,222	67,532	△ 6,690	通信費(会報送料84円×573名)、受取人払通信費(63円+15円)×150枚、返信用葉書印刷代7,700円
懇親会費	0	0	0	開催せず
役員会議費	0	39,000	39,000	定例会(役員13名×1,500円×2回)
慶弔費	0	3,000	3,000	電報代等
事業費	113,493	118,799	5,306	
会報関係費	53,493	48,799	△ 4,694	会報誌(印刷代5,000円)、暑中見舞(63円×573名)+印刷代7,700円
ホームページ費	60,000	60,000	0	維持費5,000円/月
企画準備費	0	10,000	10,000	会議費
事務費	26,825	14,744	△ 12,081	用紙代2,544円、事務局費10,000円、振込費2,200円
支出合計	214,540	243,075	28,535	年度内支出
次年度繰越	1,390,378	1,390,378	0	
総合計	1,604,918	1,633,453	28,535	年度内支出+次年度への繰越金

議案④／2021年度予算案(2021.9.1～2022.8.31)

【収入の部】

(単位：円)

科目	前年度 決算額	今年度 予算額	増・減 (△)	備考
前年度繰越金	1,390,378	1,390,378	0	
年会費	0	0	0	徴収なし
通信費 援助金	226,800	229,200	2,400	200円×573名×2回(会報、暑中見舞)
総会費	0	50,000	50,000	Web開催本部支援金
雑収入	12	12	0	預金利息12円
収入合計	226,812	279,212	52,400	年度内収入
総合計	1,734,511	1,702,518	△ 31,993	年度内収入+前年度からの繰越金

議案賛否の返信用ハガキは
10月20日(水)までに〒ポストへ
お願いします

近1 人生の節目を迎えて～伊藤 節(9FA・1984卒)～

2019年後半から世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症で世の中が一変し、何をすることも制限され、不自由な日々を過ごされている会員の方も多いかとご拝察いたします。

ただ、不自由なれば自由の大切さがわかるしその尊さを感じることもできます。また、これまでいろんな障害でできなかったことも、考えられないくらい進展し働き方改革というより、生き方自体が変わってきたように感じます。

私としては、このような世の中の状況に、あながち不自由なことも悪いことばかりでは無いと受入れ2021年に入り人生節目の還暦を迎えました。仕事は3月末をもって一旦職を辞し、4月から新たな職へ身を投じ、不安もありましたが心機一転！新たな仕事に取り組んでいる頃、6月には実父が他界、私は還暦と目まぐるしい日々を送りました。

このような状況の中、「趣味?」、「ボランティア?」、「セカンドキャリア?」として行っているラグビー協会の業務も、新会長の着任、トップリーグの新リーグへの移行と慌ただしく、また、さわやかスポーツ広場の存続署名活動や8月下旬の国民体育大会第41回九州ブロック大会の運営に汗を流し、現在は、福岡県ラグビー協会の法人化への準備に奔走しながら、2022年1月に開幕する日本ラグビーの新リーグ「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」の開幕に向け準備を進めている状況です。貧乏暇なしといったところでしょうか……。

さて、新型コロナウイルス感染症も変異ウイルスの出現により第4波、第5波と感染拡大が繰り返され、これまで以上に感染防止のための制限も増すのではと心配されますが、来年こそは同窓生が集い、歓談し、後輩たちをサポートいただくことができますよう願っています。

皆様方、それまでご自愛いただき、お元気で活躍されますことをご祈念申し上げます。



想3 大学時代の思い出ランキング！ ～片岡 恭一郎（1HI・1972卒）～

- 第1位 今はなくなってしまった衛生学部産業衛生学科第一期生となり、直ぐに彼女を見初めたこと。卒業後、彼女は東京から飯塚まで嫁いできてくれた。妻よ、ありがとう♡♡♡
- 第2位 陸上部が無かったので、体育会陸上競技部の前身である陸上競技愛好会を立ち上げたこと。相模原市の陸上競技会に出場し、競技が終わったあと何故か部員全員感涙にむせんだ。将来の部員の活動の場を広げようと、箱根駅伝を主管する関東学生陸上競技連盟に所属した。最初は弱々しい苗であったが今では80名を超える立派な大木（陸上部）に育っている。後輩に感謝！
- 第3位 同級生4人で町田のアパートを借り自炊したこと。4人のそれぞれの郷里の方言をもじって『ジャ・サラ・バイ・ベ』を立ち上げ、渋谷公会堂での文化祭？で寸劇と『ピンキーとキラーズ』の「恋の季節」を披露した。「竹馬の友」は最高！



「ジャ・サラ・バイ・ベ」とその仲間たち
(前列左端が私、その右隣の女性が今は妻)

想4 大学時代のスケート部での思い出 ～片岡 ふみ子（1HI・1972卒）～

毎朝、穂波川の土手を1時間程ウォーキングしています。
早朝とはいえ、既に日差しを暑く感じますが、マスクなしで新鮮な空気を味わえる幸せを楽しんでいます。数年前までは、同じ道を「走って」汗をかいていたのですが……。
そう、「走る」といえば、学生時代に所属していた今は消滅したスケート部で、冬は向ヶ丘や品川のアイススケート場での練習や軽井沢などで冬合宿をしましたが、夏は陸上トレーニングなるものが主となり、夏合宿でのランニングがとても苦しく嫌だったことを思い出します。起伏のある山道のあのカーブを曲がったら鉄塔が見え、その次のカーブを過ぎるとゴールが……と自分に言い聞かせながら走ったものでした。
そして、合宿での一番の楽しみは食事でしたのに毎日粗末なものばかりで、先輩が「肉食べたい！肉食べたい！」と皿を叩いて叫んでいたことを今では微笑ましく思い出します。
あの頃は嫌いだった「走る」ことを何故か中年になって再び始め、今では健康のためのウォーキングから一日が始まる日々となっています。

近2 未来につなぐ有明海 ～田上 淳（4HI・1975卒）～

2020年10月、大牟田市教育委員会から海洋教育副読本の作成に協力してほしいとの依頼がありました。大牟田市は、有明海特有のムツゴロウやワラスポの生息、また、渡り鳥の飛来地としてラムサール条約の登録湿地に認定されている有明海に接しており、同市では、SDGzの「14海の豊かさを守ろう」に対する取組みとして小学高学年用の環境教育教本を作ることになりました。



クロツラヘラサギ

表題は「未来につなぐ有明海」で、副題は「海とともに生きる」となり、有明海はどんな海、有明海と森と川の関係、干潟のはたらき、干潟の生き物、有明海と大牟田の人々の暮らし、三池港の魅力、豊かな海を未来へ残そうとなっています。

過去から現在の環境への取組みや私が撮影した絶滅危惧種の渡り鳥の写真が使用されており、2021年3月に完成し、大牟田市内の一部の小学校に配付されています。

紙面スペースの都合で掲載できなかった他の役員の“大学時代の思い出”などは次回の会報に掲載します

会長 山田 亮 (13PP・1980卒) **副会長** 田上 淳 (4HI・1975卒)、因間 司 (11PT・1979卒) **監事** 片岡ふみ子 (1HI・1972卒)
理事 事務局長/小野智康 (23VZ・1992卒)、会計/加藤隆子 (12PP・1979卒)、片岡恭一郎 (1HI・1972卒)、梶原一人 (4VV・1973卒)
安在 敏 (12VV・1981卒)、高山慶司 (7FA・1982卒)、伊藤 節 (9FA・1984卒)、栗原 潔 (13MM・1988卒)、石山恭子 (12NN・2001卒)

皆様の投稿をお待ちしています！

大学時代の思い出、近況、同期会情報、会社・お店のPRや採用情報等なんでも構いません！事務局あてお気軽にお寄せください。
毎年10月発行（締切9月中旬）/投稿はE-mail（右記）をご利用ください。

事務局はこちら……

〒813-0013 福岡市東区香椎駅前2-5-11 シャトル浩栄 202
事務局長 小野 智 康
TEL & FAX : 092-672-3713
E-mail : fukuokakenshibu@kitasato-dousoukai.jp
……お気軽にご連絡ください